

## Toshiya Motai / 母袋 俊也

- 1954 長野県生まれ
- 1978 東京造形大学美術学科絵画専攻卒業
- 1983 フランクフルト美術大学／シュテーデルシューレ R・ヨヒムス教授に学ぶ（～'87 帰国）
- 1986- 複数パネル絵画様式の展開
- 1988- 立川にアトリエを定め、制作を始める、戸外でのスケッチの再開
- 1992 論文「絵画における信仰性とフォーマット - 偶数性と奇数性をめぐって -」執筆
- 1993 東京造形大学専任講師（'94～助教授）
- 1995 アトリエを立川から藤野に移す、偶数パネル作品を TA 系と命名する
- 1996 奇数パネルでの制作
- 1999- 野外作品「絵画のための見晴らし小屋」制作
- 2000- 東京造形大学教授
- 2001- Qf（正方形フォーマット）系の展開
- 2013- 「Himmel Bild」シリーズの開始
- 2019 東京造形大学退職、名誉教授
- 2020 嵯峨美術大学客員教授

## Solo Exhibitions

- 2024 「空の絵〈Himmel Bild〉のさらに上方へ—Further up the “Painting of the Sky”—」  
GALLERY TAGA 2 / 東京 p.d.
- 2023 「〈絵画のための見晴らし小屋 再々生 2023〉 公開+資料展示」 藤野倶楽部 / 神奈川 pc.d.
- 2022 「母袋俊也 魂—身体 そして光 《ta・KK・ei》《TA・GEMBAKZU》」原爆の図 丸木美術館 / 埼玉
- 2021 「母袋俊也 ta・KK・ei 2021」 GALLERY TAGA 2 / 東京 p.d.
- 2020 「母袋 俊也 〈Qf キューブ〉—像が積層する立方体そして絵画の位置」  
GALLERY TAGA 2 / 東京 p.d.w.  
「母袋俊也 〈ta・KK・ei 2020〉 奇数連結再始動」 NANAWATA / 埼玉 p.d.
- 2019 「母袋俊也 浮かぶ像—絵画の位置」 東京造形大学附属美術館 / 東京 p.d.ij.
- 2018 「母袋 俊也展 〈バーティカル〉」 GALLERY TAGA 2 / 東京 p.mt.
- 2017 「母袋俊也展 絵画のための見晴らし小屋—小装置とドキュメント」  
CrossViewArts / 東京 p.d.w.pc.  
「母袋俊也 Koiga-Kubo 1993/2017 そして 〈Qf〉」 奈義町現代美術館 / 岡山 p.pc.ij
- 2016 「Printworks ポートフォリオ 《現出の場》 /  
モノタイプ 《mt21 「もう一つの世界」に回り込んで》」 GALLERY TAGA 2 / 東京 mt.ij  
「Toshiya Motai Painting Paper Works」 Galerie Grand E' terna / パリ p.mt.
- 2015 「母袋俊也 「空の絵」《ヤコブの梯子・藤野》《Himmel Bild》」  
BC 工房ふじのリビングアート / 神奈川 p.pc.
- 2014 「Himmel Bild」 GALLERY TAGA 2 / 東京 p  
「母袋俊也 Qf SHOH 《掌》 90・Holz 2009—2014」 ギャラリーなつか / 東京 p.d.w.  
「母袋俊也 絵画《TA・KO MO RO》—《仮構・絵画のための見晴らし小屋 KOMORO》」  
市立小諸高原美術館 / 長野 p.pc. d.w.

- 2012- 「コレクション x フォーマットの画家母袋俊也 世界の切り取り方ー縦長か横長か、  
2013 それの問題だ」 青梅市立美術館 / 東京 p.pc.
- 2011 「母袋俊也 Qf・SHOH 《掌》 90・Holz 現出の場ー浮かぶ像ー膜状性」  
ギャラリーなつか / 東京 p.d.w. d.
- 2010 「母袋俊也 TA・TARO」 夢の庭画廊 / 上田 / 長野 p.
- 2009 「母袋俊也 Qf-SHOH 《掌》 90・Holz /145」 ギャラリーなつか / 東京 p.d.w.
- 2008 「母袋俊也 窓 - 像 KY OB AS HI」 INAX ギャラリー / 東京 p.pc.
- 2007 「母袋俊也 TA・KOHJINYAMA」 ギャラリーなつか / 東京 p.d.  
「母袋俊也 〈絵画のための見晴らし小屋〉 水平性の絵画 〈TA〉 の流れ」  
辰野美術館 / 長野 p.w.pc.
- 2006 「風景・窓・絵画 アーティストの視点から : 母袋俊也の試み」  
埼玉県立近代美術館 (常設展特別展示) p.pc.
- 2005 「母袋俊也 Qf・SHOH 150 《掌》」 ギャラリーなつか / 東京 p.w.  
「母袋俊也 《Qf》 その源泉」 エキジビション・スペース / 東京 p.w.mt.d.
- 2004 「母袋俊也 絵画 - 見晴らし小屋 TSUMAALI」 アートフロントギャラリー / 東京 p.pc.
- 2003 「母袋俊也 TA・SHOH-Qf・SHOH 《掌》」 ギャラリーなつか / 東京 p.
- 2001 「母袋俊也 TA・MA UNOU HI」 エキジビション・スペース / 東京 p.  
「母袋俊也 mag/fujino」 ギャラリーなつか / 東京 p.  
「母袋俊也 Quadrat/full」 ギャラリーエアンドウ / 東京 p.
- 2000 「母袋俊也 ARTH・UR・S・SE・ATAR」 ギャラリー TAGA/ 東京 p.  
「母袋俊也 Project 絵画のための見晴らし小屋」 ギャラリー毛利 / 東京 d.p.s.
- 1999 「母袋俊也 ta・KK・ei-TA・ENTJI」 ギャラリーなつか / 東京 p.d.  
「母袋俊也 ドローイングインスタレーション ta・KK・ei」 ギャラリーエアンドウ / 東京 d.
- 1998 「母袋俊也 NA・KA・OH II」 ギャラリー TAGA/ 東京 p.  
「MOTAI Gemälde・Papierarbeiten」 ライン・ルーア・クンストアカデミー / エッセン p.w.mt.
- 1997 「母袋俊也 TAaT」 ガレリアラセン / 東京 p.  
「母袋俊也 TAa/Nakaoh」 ギャラリール・デコ / 東京 p.  
「母袋俊也 Printworks」 ギャラリーエアンドウ / 東京 l.mt.  
「母袋俊也 TAaT」 ギャラリー You / 京都 p.
- 1996 「Wien」 ギャラリー TAGA/ 東京 p.  
「Stephan II」 ギャラリーエアンドウ / 東京 p.  
「TAAT-NA・KA・OH」 ギャラリーなつか / 東京 p.
- 1995 「Hossawa」 ギャラリーなつか / 東京 p.  
「Waage・TA」 かわさき IBM 市民文化ギャラリー / 神奈川 p.
- 1994 「from Figure」 ギャラリー TAGA/ 東京 p.  
「from Plant」 apt ギャラリー / 東京 p、 ギャラリーエアンドウ / 東京 p.d.w.
- 1993 「paper -foldscreen- 開かれる翼 -」 ギャラリーエアンドウ / 東京 w.  
「Koiga-Kubo」 ギャラリーなつか / 東京 p.
- 1992 「from Figure」 apt ギャラリー / 東京 p.  
「素描 1001 葉の f・Z より」 ギャラリー TAGA/ 東京 d.  
「リトグラフ -Le Ballet」 ギャラリー福山 / 東京 l.
- 1991 「オマージュ 1906 水彩」 apt ギャラワー / 東京 w.  
「平面・余白・モダニズム」 ギャラリーαM / 東宮 p.

- 1990 「母袋俊也 絵画・水彩」 ストライプハウス美術館 / 東京 p.w.
- 1987 ボン文化センター / ボン p.w.、ギャラリープルマン / フランクフルト p.w.、  
JAL ギャラリー / フランクフルト w.
- 1985 シュテーデルシュレー / フランクフルト d.、  
ギャラリーヴィーゼンマイヤー / ヴァイルブルク d.
- 1984 ギャラリーヴィレムス / フランクフルト d.
- 1981 シロタ画廊 / 東京 p.
- 1979 真和画廊 / 東京 ('80) p.

## Selected Group Exhibitions

- 2023 「東京造形大学コレクション展」 東京造形大学附属美術館 / 東京  
「ギャラリー湯山 FINAL 展」 ギャラリー湯山 / 新潟  
「ANDO SESSION 13 展」 ギャラリーエアンドウ / 東京
- 2022 母袋俊也参加「東京造形大学コレクション展」 東京造形大学附属美術館 / 東京
- 2021 「シンビズム 4」 上田市立美術館 / 長野  
「渡辺えつこ 母袋俊也 Gegenüberstellung / confrontation 対置」  
ユミコチバアソシエイツ / 東京
- 2016 「美作三湯芸術温度」 湯郷 / 岡山
- 2015 「第 6 回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2015」 新潟  
「アートプログラム青梅 2015 感性を開く 一人ができること」 青梅総合高校 / 東京
- 2014 「見る事・描くことー油画技法材料研究室とその周縁の作家たち」  
東京藝術大学大学美術館、陳列館 / 東京  
「福島現代美術ビエンナーレ 2014」 喜多方市美術館、湯川村道の駅 / 福島  
「アートプログラム青梅 2014 まなざしを織る」 青梅市立美術館 / 東京
- 2013 「色彩の力」 ギャラリーエアンドウ / 東京  
「アートプログラム青梅 2013 雲をつかむ作品たち」 サクラファクトリー / 東京
- 2012 「新生 2012 Vol.1」 ギャラリーなつか / 東京  
「風・景・観 見逃した世界・ここにある世界」 アートラボはしもと / 東京  
「アートプログラム青梅 2012 存在を超えて」 青梅市立美術館 / 東京  
「福島現代美術ビエンナーレ 2012 SORA」 福島空港 / 福島
- 2011 「アートプログラム青梅 2011 山川の間で」 青梅市立美術館 / 東京
- 2010 「アートプログラム青梅 2010 循環の体」 青梅市立美術館 / 東京  
「SO+ZO 未来をひらく 造形の過去と現在 1960s →」  
Bunkamura ザ・ミュージアム / 東京、桑沢デザイン研究所 1F / 東京
- 2009 「第 4 回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2009」 新潟  
「アートプログラム青梅 2009 空間の身振り」 BOX KI-O-KU(旧都立繊維試験場) / 東京
- 2008 「Harvest 原健と 160 人の仕事」 銀座東和ギャラリー / 東京、  
東京造形大学 ZOKEI ギャラリー / 東京  
「Fuse / Fururu」 SESNON ART GALLERY at USSC / UC サンタクルーズ、USA  
「アートプログラム青梅 2008 - 空気遠近法 U・39」  
「ワークショップ報告展 風景画 うまれるとき」 青梅市立美術館 / 東京

- 「ポリフォニー Bild 画 うまれるとき」吉川英治記念館 / 東京  
 「板津版画工房と作家たち」調布文化会館 / 東京  
 2007 「Fuse/Fureru」東京造形大学美術館 / 東京、京都造形大学 ギャラリーオーブ / 京都  
 「アートプログラム青梅 2007- 出会いのよりしろ」吉川英治記念館・青梅 / 東京  
 2006 「第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2006」新潟  
 「〈絵画〉は〈絵画〉を超えて」ギャラリーなつか / 東京  
 2005 「郷土ゆかりの作家たち II」新見市美術館 / 岡山  
 2003 「中川久・母袋俊也」かわさき IBM 市民文化ギャラリー / 神奈川  
 「第2回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2003」新潟  
 「代官山アートフェア」ヒルサイドフォーラム / 東京  
 2002 「こころのパン 2002 絵画・彫刻」イズミット市立美術館他5都市巡回 / トルコ  
 2000 「トルコ支援 日本現代美術展 - こころのパン -」デルメンデレ芸術の家 / デルメンデレ、トルコ  
 1999 「第2回 Fujino 国際アートシンポジウム' 99」藤野 / 神奈川  
 「SSA・アニュアル展」ロイヤル スコティッシュ アカデミー / エジンバラ、スコットランド  
 「Artisits+Itazu Litho-Grafik 展」文房堂ギャラリー / 東京  
 1998 「神奈川アートアニュアル」神奈川県民ホールギャラリー / 神奈川  
 「川村龍俊コレクション展」東京純心女子大学 純心ギャラリー / 東京  
 1997 「'97 大邸アジア美術展」大邸文化芸術会館 / 韓国

p:painting  
 d:drawing  
 w:water color  
 l:lithograph  
 s:slide  
 pc:prospect cottage  
 mt:monotype  
 ij:inkjet

## Public Collections

辰野美術館 / 長野  
 市立小諸高原美術館 / 長野  
 上田市立美術館 / 長野  
 東京造形大学附属美術館 / 東京  
 那須野が原博物館 / 栃木  
 オーバーヘッセン美術館 / ギーセン、ドイツ  
 ヘッセン州立美術館 / ダルムシュタット、ドイツ  
 コジャエリ大学附属バーク・コムスオール教授記念美術館 / トルコ  
 ライン・ルーア・クンストアカデミー / ドイツ  
 . . . . .

Tatsuno Museum of Art, Nagano, Japan  
 Municipal Komoro Kogen Museum of Arts, Nagano, Japan



Ueda City Museum of Art, Nagano, Japan  
Tokyo Zokei University Art Museum, Tokyo, Japan  
NASUNOGAHARA MUSEUM, Tochigi, Japan  
Oberhessisches Museum, Gießen, Germany  
Hessisches Landesmuseum, Darmstadt, Germany  
Kocaeli Üniversitesi Prof. Dr. Baki Komsuoğlu Müzesi, Kocaeli, Turkey  
Kunstakademie Düsseldorf, Germany

## Books

「母袋俊也 浮かぶ像—絵画の位置」現代企画室  
「絵画へ 美術論集 1990-2018」論創社  
「母袋俊也 絵画 母袋俊也作品集 vol.2」BLUE ART  
「C S P 記録集 2013—2015」（共著）東京造形大学現代造形創造センター  
「成田克彦「もの派」の残り火と絵画への希求」（共著）東京造形大学現代造形創造センター  
「絵画のための見晴らし小屋 母袋俊也作品集 vol.1」BLUE ART

## Research Papers

「母袋俊也 絵画 2020—2022 パンデミックとウクライナ戦争のなかで」東京造形大学研究報 22 (pp.117-151)、  
「母袋俊也 浮かぶ像—絵画の位置 2021」東京造形大学研究報 22 (pp.163—233)、  
「〈Qf〉 源泉と展開 2001—2018」東京造形大学研究報別冊 16 (全 117 頁)、「母袋俊也 絵画 マトリックス  
1987—2018」東京造形大学研究報 20 (p.5~97)、「母袋俊也 著述集〈絵画へ〉1990—2017」東京造形大学  
研究報別冊 13 (200 頁)、「母袋俊也 絵画のための見晴らし小屋 1999~2016」東京造形大学研究報 18(p25~54)、  
「母袋俊也 絵画《TA・KOMORO》《仮構・絵画のための見晴らし小屋 KOMORO》仮想の見晴らし小屋から浅  
間を切り取る—」東京造形大学研究報 17(p5~59)、母袋俊也 記録「コレクション x フォーマットの画家母袋俊  
也 世界の切り取り方—縦長か横長かそれが問題だ」東京造形大学研究報 15(p44~109)、「母袋俊也「絵画 マ  
トリックス 1987—2010 M1-M431」東京造形大学研究報 12(p89 ~ 180)、「風景・窓・絵画—アーティスト  
の視点から：母袋俊也の試み」東京造形大学研究報 8(p17~71)、「母袋俊也 絵画のための見晴らし小屋  
1999-2004」東京造形大学研究報 6(p65~97)、「母袋俊也 絵画 フォーマット Painting 1989-1999」東京造形  
大学研究報 2000(p35~68)、「母袋俊也 Painting 1996-1997」東京造形大学雑誌 10B(p35~44)、「母袋俊也  
Painting 1993-1995」東京造形大学雑誌 9B(p39~48)、「母袋俊也 Painting 1989-1993」東京造形大学雑誌 8B  
(p37~48)、「母袋俊也 Hommage1906」東京造形大学雑誌 6B(p65~74)

## Articles

「《像》の芸術としての絵画とゲーテ色彩論」『モルフォロギア』36号 ゲーテと自然科学 (p47～74)、慶応義塾大学出版社)『モルフォロギア』35号 ゲーテと自然科学 (p130～133)、「クレーの造形宇宙をとおして現前する『色彩のオーバーラップ』」(書評) (「パウル・クレー 造形の宇宙」前田富士男 著、「生を喚起するモルフェーの照射『かたちの詩学 1・2』」(書評) (「かたちの詩学 1・2」向井周太郎 著・中公文庫)、「実作者による色彩試論—絵画の内側からみたゲーテ色彩論」モルフォロギア 27号 ゲーテと自然科学 (P.37-65)、「絵画史への旅—ゲーテの「イタリア紀行を携えて」」(書評) (「ゲーテと歩くイタリア美術紀行」高木昌史 編訳・青土社) モルフォロギア 25号 ゲーテと自然科学 (P.158-159)、「シュタイナーの色彩理論における実践と今日性」(書評) (E・コッホ『色彩のファンタジー—R・シュタイナーの芸術論に基づく絵画実践』松浦賢 訳・イザラ書房) モルフォロギア 20号 ゲーテと自然科学 (p120～121)、「試論・成田克彦」造形学研究 14「成田克彦研究」(p41～51)、「絵画における信仰性とフォーマット」東京造形大学雑誌 A7(p71～93)